

## 個別事業の実施状況

基本目標	重点施策	具体的施策		主な事業	所管部署
1 安定した雇用の創出と働きやすい環境づくり	1-1 就労機会の拡大	①雇用の創出	1	新規起業家に対する支援	産業振興課
	1-2 地元産業の活性化	①農業の6次産業化	1	おいしい農家推進事業	産業振興課
2 若い世代が結婚・出産・子育ての希望をかなえられる環境づくり	2-1 子ども・子育て支援の充実	①地域で子育てできる環境づくり	1	子育て支援センターの利用促進	こども未来課
	2-2 教育環境の整備・推進	①教育内容の充実	1	小中連携学カアップの推進	学校指導課
3 中間市の地域資源を活かした新しい人の流れの創出	3-1 移住・定住の推進	①移住・定住の受入れ体制の整備	1	空き家バンク制度の導入及び推進	都市計画課
	3-2 地域資源を活かした観光の振興	①世界遺産等を活かした地域の活性化	1	世界遺産等を活用した地域活性化	産業振興課
4 地域間の連携や安全・安心な暮らしの確保など時代に合った地域づくり	4-1 協働のまちづくりの推進	①安全・安心な地域づくりの推進	1	ふるさとみまわり隊の充実	安全安心まちづくり課
	4-2 地域・企業・大学等との連携	①地域・企業・大学等との連携	1	かわまちづくりイベントの開催	企画課

## 具体的施策①雇用の創出

重要業績評価指標 (KPI)		指標 1	年間創業者数			
			基準値	累計80件	目標値	累計100件
事業名	1 新規起業家に対する支援		所管課	産業振興課		
R5実施状況						
<p>市役所内（産業振興課）に創業支援に係るワンストップ窓口を設け、商工会議所や地域金融機関と連携を図りながら支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市窓口創業相談件数：9件</li> <li>・市内新規創業者件数：20件</li> <li>・商工会議所窓口創業相談件数：29件</li> <li>・チャレンジショップ新規開業件数：1件</li> <li>・創業スクール受講者数：7名</li> <li>・「事業環境変化対応型支援事業」個別相談会：9件</li> </ul>						
R5事業費	0千円		R5成果	相談件数： 47件、創業者数： 20件		
<small>〇は年度末予測</small>	（ 0千円）		<small>〇は年度末予測</small>			
地方創生関連交付金の活用			無	交付金名		
今後の予定 (R5)						
<p>商工会議所と連携を図りながら引き続き創業支援を行っていく。本市の取組としては、幅広く創業者の目に届くよう創業支援に関するパンフレットを連携する機関の窓口に配架したり、本市の広報紙やホームページ、SNSを活用したりすることで情報を広く発信していく。</p>						

## 具体的施策①農業の6次産業化

重要業績評価指標 (KPI)	指標 1	6次産業化に向けた商品開発数			
		基準値	累計4商品	目標値	累計5商品
事業名	1 おいしい農家推進事業			所管課	産業振興課
R5実施状況					
<p>令和2年度から令和4年度までに「野菜を使用した焼き菓子」「ブルーベリージャム」の2品目を商品化しているが、令和5年度は新たに「イチゴのアイスクリーム」「ブルーベリーのアイスクリーム」「イチジクのアイスクリーム」「トマトのスムージー」「メロンのスムージー」「イチジクのスムージー」「ブルーベリーのスムージー」が商品化された。</p> <p>6次産業化に向けた商品開発を進めている方々は少数であり、特に農業者は高齢を理由として6次産業化は困難という声が多い。6次産業化の魅力を広く伝えていく必要がある。</p>					
R5事業費 <small>〇は年度末予測</small>	0千円 ( 0千円)	R5成果 <small>〇は年度末予測</small>	7品目		
地方創生関連交付金の活用	無	交付金名			
今後の予定 (R5)					
<p>6次産業化に関する魅力を理解していただくため、国や県のセミナー・個別研修の情報について産業振興課窓口やホームページでの情報提供、生産組合へのチラシ配布などにより広く発信していく。また、農業者や加工業者、販売業者と引き続き協力し商品開発を進めていく。生産者と加工者のマッチングができるような仕組み作りが非常に重要であると考えており、県に対して構築の働きかけを行っていく。</p>					

## 具体的施策①地域で子育てできる環境づくり

重要業績評価指標 (KPI)	指標 1	子育て支援センターの年間利用者数			
		基準値	9,000人	目標値	16,800人
事業名	1 子育て支援センターの利用促進	所管課	こども未来課		
R5実施状況					
<p>子育て広場「くるり」の利用者は、出生数の低下及び保育所等への入所者増加から減少傾向にあることは変わっていない。令和5年5月からコロナウイルス感染症が5類に移行したため、利用人数の制限、利用時間の制限等を解除したことから昨年度と比較し利用者の増加にはつながったが、敷地内に駐車場スペースが少ないため、利用時間を1組2時間程度で交代していただくようお願いをしている。</p>					
R5事業費	15,006千円	R5成果	くるり広場利用者数6,053人		
○は年度末予測	( 19,500円)	○は年度末予測	(8,000人)		
地方創生関連交付金の活用			交付金名		
今後の予定 (R5)					
<p>感染拡大防止対策を講じながら継続して事業を実施していくが、出生数の減少、保育所等入所による利用者数減少、駐車場スペースの問題は今後も継続すると思われる。そこで、令和6年4月に「こども家庭センター」が開設することに合わせ、利用者数増を考慮したこども用トイレ設置等の改修工事、短時間一時預かり及び世代間交流などの新規事業を展開し利用者の増加を図っていく。また、利用者に安心感を与えられるように、こども家庭センターを構成する3系の連携を強固にし、子どもに関するあらゆるサポートを実施していくことにより施設利用者の更なる増加につなげたい。</p>					

## 具体的施策①教育内容の充実

重要業績評価指標 (KPI)		指標 1	学力テストの県平均値			
			基準値	若干下回る	目標値	上回る
事業名	1 小中連携学力アップの推進		所管課	学校指導課		
R5実施状況						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長を長とする小中連携会議を年間3回実施し、全国、県及び中間市学力調査の結果分析を共有するとともに、各中学校区ごとの児童生徒の実態に応じた継続性、発展性のある学力向上の取組を計画し、取組指標・成果指標やアンケート結果を基に検証しながら実践した。</li> <li>・授業デザイナー研修によりiPadを効果的に活用した授業の在り方についての理解を深めるとともに、フィルタリングソフトの導入による環境整備を進めるなどし、一人一台端末の利活用を推進した。</li> <li>・学級集団アセスメント(hyper-QU)を年2回実施し、児童生徒の人間関係や学習意欲等を客観的に把握し、より良い学級集団づくりに反映させた。</li> <li>・中間市学力調査を実施後、児童生徒の調査結果を分析し授業づくりに反映させた。</li> <li>・教育活動におけるICTの有効活用を全国で実現することを目的に開催されているICT夢コンテストにおいて、全国から応募がある中、中間市教育委員会のiPad利活用研修の実践報告が優良賞を受賞した。授業デザイナー研修の成果を活かし、ICT推進リーダーの教員が研修講師となり、市内教員のスキルに応じた研修を行った点が高く評価された。この研修を通じて、市内教員の授業におけるiPad利活用が大きく進んだ。</li> </ul>						
R5事業費 ○は年度末予測	5,081千円 (7,542千円)	R5成果 ○は年度末予測	学力テストの県平均値を小中ともに上回る iPadを効果的に活用した授業づくり			
地方創生関連交付金の活用		無	交付金名			
今後の予定 (R5)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPadを活用した授業改善や持ち帰りの推進と児童生徒の情報活用能力の育成</li> <li>・ 授業支援ソフトの導入による児童生徒の個々の学力を伸ばす授業づくりを目指す</li> <li>・ 全ての児童生徒にとって居心地が良く、かつ学び続ける学級集団づくり</li> <li>・ 個別最適な学びと協働的な学びの実現による高い水準での学力維持</li> </ul>						

## 具体的施策①移住・定住の受入れ体制の整備

重要業績評価指標 (KPI)	指標 1	空き家バンク登録物件売買件数			
		基準値	累計130件	目標値	累計150件
事業名	1 空き家バンク制度の導入及び推進	所管課	都市計画課		
R5実施状況					
<p>固定資産税納税通知書等に空き家バンク制度の案内を同封する、空き家相談会または個別の相談等において空き家バンク制度への登録を促す、組回覧によりチラシを配布する等の広報周知を行った。県と共催している空き家相談会のほか、居住支援協議会等において空き家バンク制度の説明を行い情報周知に務めた。1月12日現在の登録件数は36件、成約件数は16件である。</p>					
R5事業費	0千円	R5成果	バンク登録物件売買件数 16件		
○は年度末予測	( 0千円)	○は年度末予測	(バンク登録物件売買件数 16件)		
地方創生関連交付金の活用	無	交付金名			
今後の予定 (R5)					
<p>広報周知については例年どおり実施する。中間市公式ホームページの更新が行われ空き家バンク特設ページができたが、現状問題なく運用できており問合せも例年並み受信していることから、適宜改良を加えながら情報発信に努める。また、予算の範囲内で対面イベントに参加する。</p>					

## 具体的施策①世界遺産等を活かした地域の活性化

重要業績評価指標 (KPI)		指標 1	世界遺産講演会等参加者数			
			基準値	累計16,094人	目標値	累計15,000人
事業名	1 世界遺産等を活用した地域活性化		所管課	産業振興課		
R5実施状況						
<p>世界遺産登録8周年記念及び登録10周年へのスタートアップ企画として、遠賀川水源地ポンプ室フットパスやなかま産業遺産ライトアップなどを実施し、世界遺産の価値や産業遺産の楽しみ方を知ってもらうとともに、着地型観光プログラムの展開を図ることで当市への来訪を促した。</p> <p>また、県や北九州市・大牟田市の世界遺産部局等と連携し、世界遺産キッズアカデミーや絵手紙コンクールなどの取り組みを進め、世界遺産価値の次世代への継承を図った。また、世界遺産オンラインミュージアムの取り組みを継続し、世界遺産価値の周知につなげた。</p> <p>&lt;主なイベント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ室フットパス 20人 ・なかま産業遺産ライトアップ 1,440人(予測値)</li> <li>・世界遺産関連パネル展 3,620人(予測値) ・出前講座 434人(予測値)</li> <li>・イベント出展等 600人(予測値) ・世界遺産学習イベント 40人</li> </ul>						
R5事業費	948千円	R5成果	1,295人			
<small>〇は年度末予測</small>	(948千円)	<small>〇は年度末予測</small>	(6,154人)			
地方創生関連交付金の活用		有	交付金名	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)		
今後の予定 (R5)						
<p>遠賀川水源地ポンプ室を中心とした世界遺産価値の周知や来訪促進を図るため、関係各所と連携し継続性のあるイベント開催を行う。また、世界遺産登録10周年を見据え、産業遺産や世界遺産を楽しむことのできる産業観光をテーマとした着地型観光プログラムを実施し、世界遺産価値の周知につなげる。</p>						

## 具体的施策①安全・安心な地域づくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)		指標 1	ふるさとみまわり隊の組織数			
			基準値	59自治会	目標値	61自治会
事業名	1 ふるさとみまわり隊の充実			所管課	安全安心まちづくり課	
R5実施状況						
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から班長会議を中止した。4月初旬に隊員募集のチラシを作成し、募集を図っているが現在の隊員が高齢化していることもあり、減少している。 5年度組織数・・・54自治会</p>						
R5事業費	275千円		R5成果	54		
○は年度末予測	( 275千円)		○は年度末予測			
地方創生関連交付金の活用			無	交付金名		
今後の予定 (R5)						
<p>高齢化による自治会長のなり手不足に加え、見守る対象の子どもがいない区域もあり、ふるさとみまわり隊の組織数が減少している。まずは自治会の組織が成立するよう、転入者へのチラシ配布等を引き続き実施し、若い世代の自治会加入促進を図っていく。また、広報紙に自治会に関する特集記事を掲載し、広く自治会活動についての理解を求め。各小学校区に設置されているまちづくり協議会において青パトなどの防犯活動を実施しているところであり、将来的にはまちづくり協議会単位での活動を視野に入れる必要がある。</p>						



## 具体的施策①地域・企業・大学等との連携

重要業績評価指標 (KPI)	指標 1	遠賀川かわまちづくり事業数			
		基準値	1事業	目標値	累計5事業
事業名	1 かわまちづくりイベントの開催				
		所管課			企画課
R5実施状況					
令和5年度予算においても予算措置ができず、本市主導による大型イベントの実施は不可能であった。しかしながら、民間主導による大規模な釣りイベントやウエイクボード大会などが河川敷で開催され、賑わいの創出につながった。					
R5事業費 〇は年度末予測	0千円 ( 0千円)	R5成果 〇は年度末予測	イベント実施 :	0件	(イベント実施 : 0件)
地方創生関連交付金の活用	無	交付金名			
今後の予定 (R5)					
本市は遠賀川を活用した新たな賑わいの場を創出することを目的とした「かわまちづくり計画」を策定しており、当該計画に基づき、令和4年度に遠賀橋上流側の芝生張り替え及び遠賀橋下流側の簡易舗装を実施した。今年度は、国土交通省において市役所前芝生広場の堆積土砂掘削、芝生の張り替え、芝生広場へのステージ土台設置、堤防側遊歩道の再整備を実施しており、本市においてデイキャンプ場等環境整備、堤防側遊歩道路面標示及び看板設置を実施している。 今後は、整備後の環境を活かし、民間事業者等も河川空間で営業活動を行うことができるようにする制度である河川空間のオープン化を進めることとし、水辺空間を活用した各種イベントの実施により、水辺空間の賑わいの創出に努めていく。また、令和6年度にはイベント実施に係る予算を計上しているところであり、当該計画と連携させながら実施していくこととしている。					